

DO測定装置 型式: MA-300

使い方ガイド

パックマスター(型式: RO-105) 専用のオプションです。パックキーパー、パックリーダーでは使用できません。



「DO測定装置」とは

専用のDOセンサーを接続し、液体中の溶存酸素(DO)を測定する装置です。DO測定には流速を必要とするため、スターラーでハウジング内に送り込んだサンプル液に一定の流速を作って測定します。

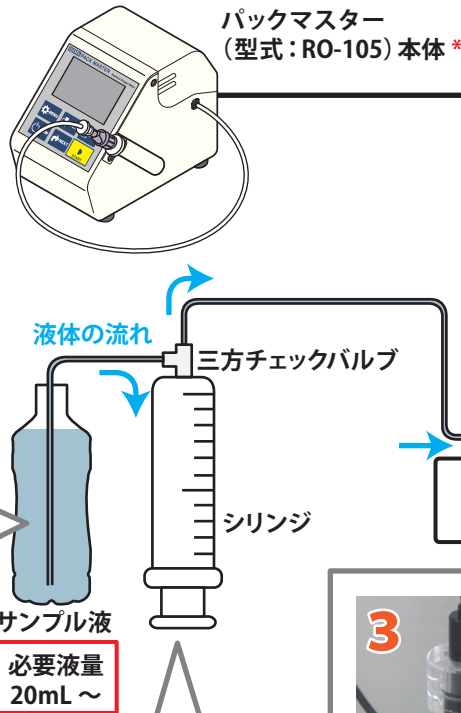
サンプル液を試料ビンなどに移す必要がなく、開封したサンプル容器からそのまま液体をハウジングに送り込んで測定できるため、ほとんど大気に触れることなく、精度よく測定できます。

使い方(測定方法)

*パックマスター、スターラーは別売です。

1

測定する液体に吸引チューブをセットします。大気に触れないよう、測定の直前に開栓し、底面に近いところにチューブの先端がくるようにします。



3

スターラーを稼働させ、ハウジング内に満たした測定水を攪拌します。(DOセンサーの先端に気泡が付いていない状態で測定します。)

攪拌子

2

シリンジを引く

シリンジを押す

シリンジの吸引/排出の操作で、サンプルからハウジングへ液体を送り込みます。この吸引/排出の操作を2~3回繰り返します。

液体に繊維質や固形物が含まれる場合は、三方チェックバルブ(逆止弁付き)が詰まってしまうため、手動の三方コックに付け替えて、注入/排出を操作します。

4 測定中は、パックマスターの自動安定判断機能により **C** 表示が回転します。安定判断が完了すると表示が消え安定値をホールドします。



ホールド中に **MEMO** を押すと、測定値を履歴として本体に記憶します。

